

平成20年度 第3回日本語指導者連絡協議会

日本語指導「副教材・教具の作成」ワークショップ

井上 恵子

1. ねらい

児童生徒の発達段階と日本語力に応じた「副教材・教具」を作成する。

2. グループ及び課題

グループ	日本語力	対象	課題及び教材
A	日本語が全く話せない児童への指導	小学生 高学年	【音声】こどものにほんご 1課「ルイス シルバくん」
B	ある程度日常会話ができる児童への指導	小学生 低学年	【文法】日本語を学ぼう2 6課「いろいろなぶんしょうだい」
C	会話力はあるが、教科学習についていけない児童への指導	小学生 中学年	【語彙】日本語を学ぼう2 25課「身のまわりの平行と垂直」
D	リライト教材の作成	小学生 高学年	「国語科」 (教育出版) 5年下「森を育てる炭作り」 (光村図書) 6年上「生き物はつながりの中に」
E	ある程度日常会話ができる生徒への指導	中学生	【文法】こどものにほんご 13課「なつ休みのけいかく」
F	リライト教材の作成	中学生	「社会科」(東京書籍) 公民「国の政治のしくみ」 地理「広がる日本の交通と通信網」

3. ワークショップの進め方

時間	活動内容
13:00～15:00	1. グループに分かれて、副教材・教具を作成する。 (副教材・教具作成メモ) 2. 発表の準備をする。
15:10～16:10	1. グループ発表をする。(講評) 8分×6グループ

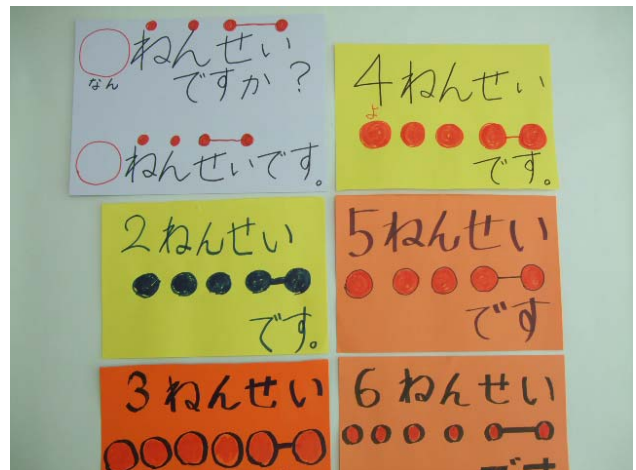
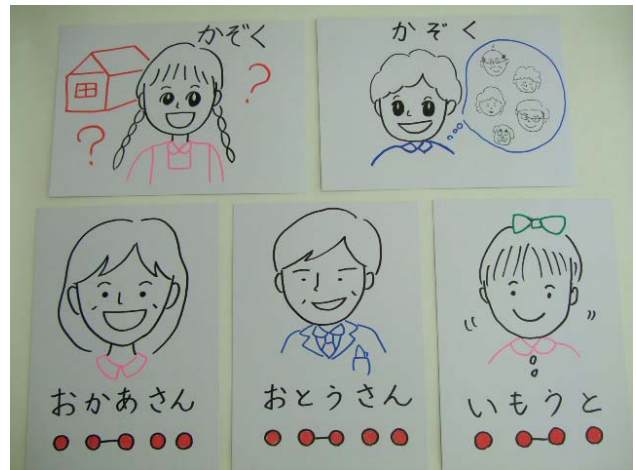
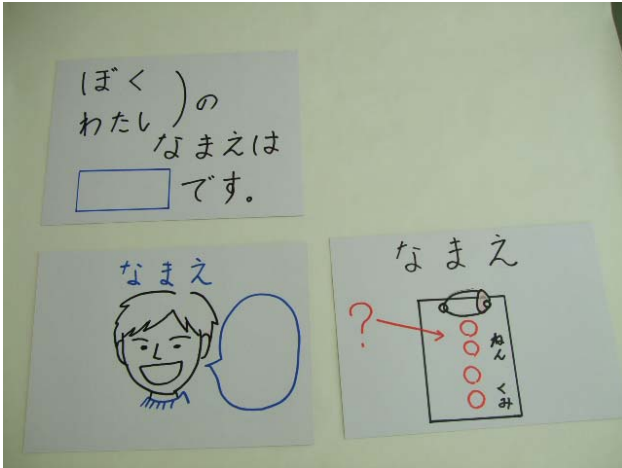
Aグループ

日本語力等：日本語が全く話せない児童への指導

対象：小学生高学年

課題・教材：[音声]こどものにほんご 1課「ルイスシルバくん」

作成教具等：



副教材・教具作成メモ

グループ	日本語力	対象	課題及び教材
A	日本語が全く話せない児童への指導	小学生 高学年	【音声】 こどものにほんご 1課「ルイス シルバくん」

1. 指導内容

絵を手がかりにし、家族の呼称や友だちの名前、何年生かを長音に注意して聞き分けたり、発音したりする。

2. 副教材・教具の概要

- ・「みんなのにほんご」より ルイスシルバくん②の会話の一文ずつを紙しばいにしたフラッシュカード
- ・おとうさん ● ● ● ● ● のように絵とニとぼのばる位置をかいたフラッシュカード
- ・友だちの顔をかき あとで名前と〇年生かをはるカード。

3. 使用方法

- ・フラッシュカードを見せて、きかれていることに関して絵をみながら答える。
- ・発音の仕方 は 〇とー を使い長音を知らせながら発音させる。
- ・目と耳で言葉を一致させていく。

4. 留意点

- ・日本語が全くわからないので通訳が必要となる。
- ・発音に合わせて手拍子などで覚えさせることも大切。

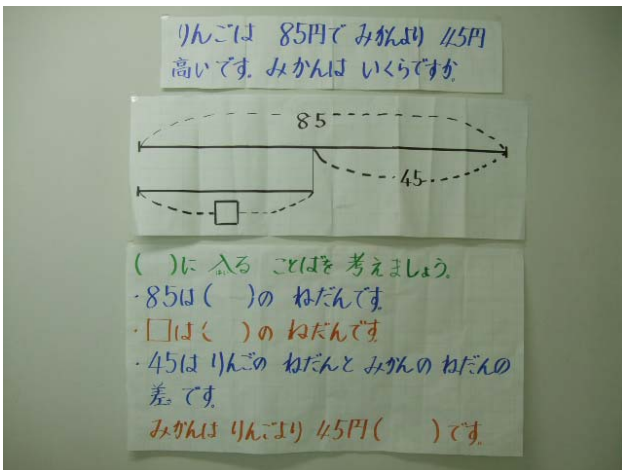
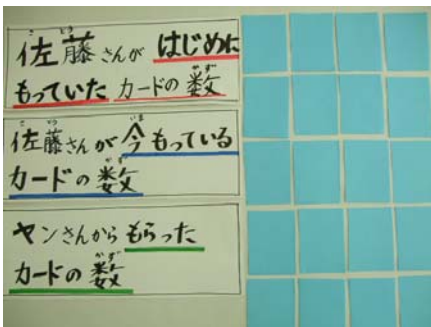
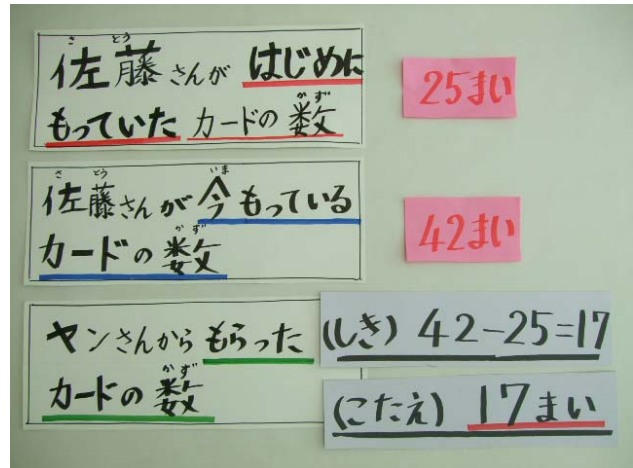
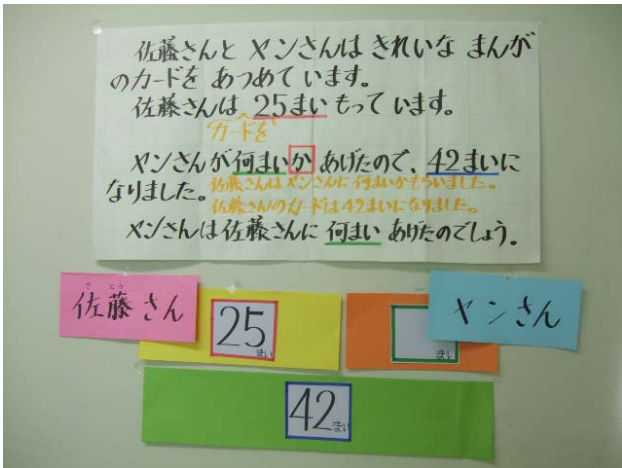
Bグループ

日本語力等：ある程度日常会話ができる児童への指導

対象：小学生低学年

課題・教材：[文法]日本語を学ぼう 2 6課「いろいろなぶんしょうだい」

作成教具等：



副教材・教具作成メモ

グループ	日本語力	対象	課題及び教材
B	ある程度日常会話ができる児童への指導	小学生 低学年	【文法】日本語を学ぼう2 6課「いろいろなぶんしょうだい」

1. 指導内容

- ・ 「なんまいか」という隠れた数に着目させて文章題の内容を理解させる
- ・ テーブ図や線分図を理解させる

2. 副教材・教具の概要

- ① 複雑な問題文をわかりやすい簡単な文に直す
- ② カード (実物)
- ③ 名札
- ④ テーブ図 <はじめの数・今もっている数・もらったカードの数>
- ⑤ テーブ図に合わせたことばを色分け(示す)
- ⑥ 数字カード

3. 使用方法

- ① 最初に掲示する。そして読みながらわかりなるところを説明し内容を確認する。
- ② 内容にあわせてカードの受け渡しを実演する。
- ④ 問題文・役割演技とを結びつけて掲示する。
- ⑤ テーブ図・数字・ことばを関連づける。
- ⑥ テーブ図から隠れたことばを見つける。

4. 留意点

- ・ だれに / だれを...等主語を明確にする

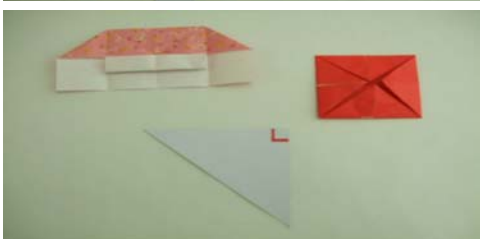
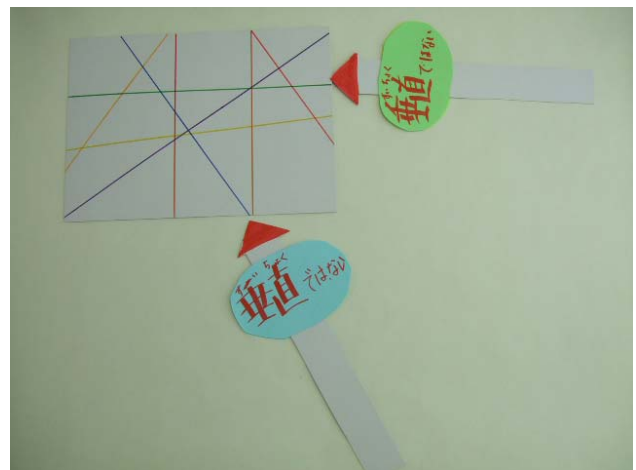
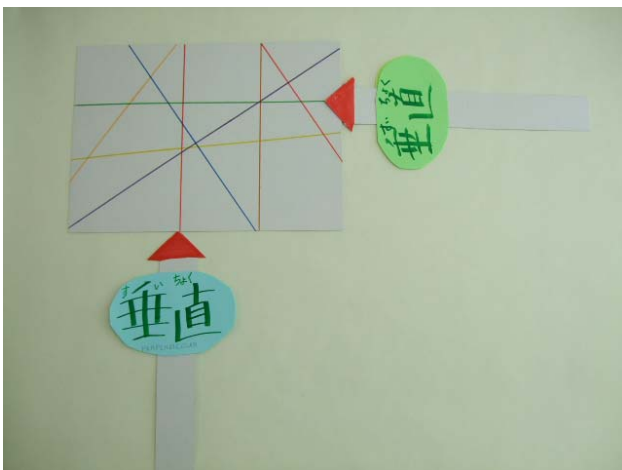
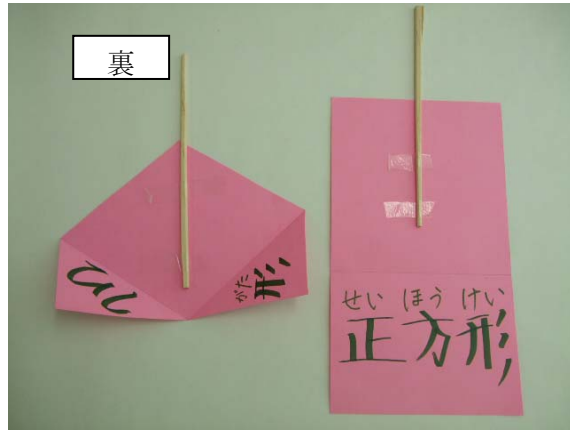
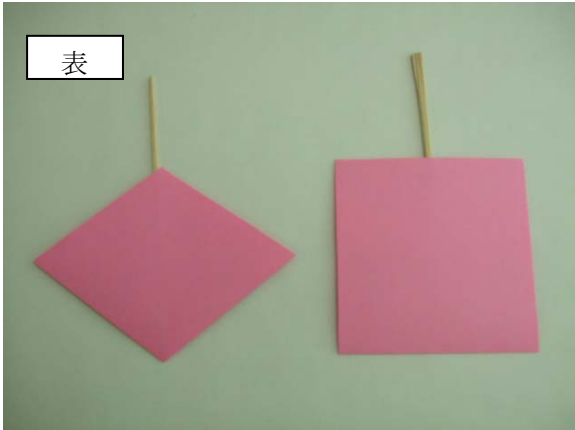
Cグループ

日本語力等：会話力はあるが、教科学習についていけない児童への指導

対象：小学生中学年

課題・教材：[語彙]日本語を学ぼう 2 25課「身のまわりの平行と垂直」

作成教具等：



< 表「垂直(平行)」：裏「垂直(平行)でない」>

副教材・教具作成メモ

グループ	日本語力	対象	課題及び教材
C	会話力はあるが、教科学習についていけない児童への指導	小学生 中学年	【語彙】日本語を学ぼう2 25課「身のまわりの平行と垂直」

1. 指導内容

- ・身のまわりの平行と垂直を理解する。
- ・いろいろな四角形の仲間分けをする。

2. 副教材・教具の概要

- ・厚紙で足の長さか不ぞろいのいすヒテーブルを作る。
- ・紙に色分けしたいろいろな直線の図
- ・直方体、立方体の模型
- ・平行、垂直を示す指示棒
- ・直角を確認するための三角形

3. 使用方法

- ・いすヒテーブルを使って、平行、垂直について確認する(導入)
- ・色分けした線の中から平行や垂直の関係になっている線を見つける。
- ・直方体、立方体の模型を使って、線と線だけでなく、面と線、面と面の平行、垂直、関係を見つける。
- ・色分けした線の図は、直線で囲まれた図形(三角形、四角形)の学習にも応用する。
- ・指示棒2本使って、身のまわりから、平行、垂直の関係を指し示す。

4. 留意点

- ・線を色分けすることにより、視覚的に分かりやすく、発表もしやすい。
- ・平行や垂直になっていないものについても触れ、平行や垂直でない理由を確認する。

Dグループ

リライト教材の作成：小学校高学年

国語科 5年下「森を育てる炭作り」

教材レベル1：要約リライト教材

- ① 昔、炭は多くの家で部屋を暖めたり、お湯をわかしたり、魚を焼いたりするエネルギーでした。それが、電機やガス、石油などを使ううちに、家の中で炭を使うことはほとんどなくなりました。
しかし、まわりを見てみると、今でも炭はかたちを変えます。多くの場所で使います。
- ② ポル エヘンプロ冷蔵庫のなかのにおいを消すものは、だいたい炭の仲間を使っています。においを消す炭をだして、ミクロスコピオエレクトロニコで調べたら、小さなあながたくさんあいています。このあなが、木が生きているときに根からすった（動作）水やエレメント ヌトリティボを全部に運びます。木を焼いて炭にすると三分の一に小さくなります。たぐさんの管（イラスト）も同じように小さいあなになります。
また、このあなには、においだけではなく、汚れをとります。そして、炭は、水槽や川の水をきれいにするのに使います。水道の蛇口についている浄水器の中には炭が入っています。
- ③ 炭を作ると、森にもよいことがあります。
昔、日本では、木を切ってまきや炭にしました。また、落ちている葉を集めて野菜を作るのに使っていました。それは、森を壊しているみたいですが、森は喜んでいきます。
- ④ 木を切ることによって、その切かぶ（イラスト）から新しい芽が出ます。その芽が大きくなって新しい森になります。また、枝を切ったり山を掃除することで、太陽の光がたくさんあたり森の木が元気になります。
- ⑤ その炭づくりが外国でも利用されています。インドネシアのトホ・イルリ村では、森を焼いてそのはいで野菜や果物を育てています。しかし、森を焼きすぎて森は少しずつ減ってきました。
- ⑥ インドネシアの人々は、森を大切にしながら、野菜づくりを続け方法を探しました。そして日本の炭づくりが森によいことがわかりました。
- ⑦ インドネシアの人は、日本人を呼んで日本の炭づくりのやり方を教えてもらいました。はじめに炭にする木をラバンという木にきめました。ラバンは今まで、大事にされなかった木です。でも、ラバンは早く大きくなるのでたくさん炭を作ることができます。だから、ラバンに決めました。
- ⑧ 次は炭焼きがまの問題です。いい炭を焼くには高い温度が必要です。だから、かまは、高い温度でも大丈夫な粘土を使わないと壊れます。残念だけど、トホ・イルリ村の粘土

は炭焼きがまにありませんでした。

そこで、ボランティアの人と相談して、かまの天井に鉄の板を使ったところ、いい炭をつくることができました。そして、村の人たちが、作った炭はバーベキュー用としてヨーロッパや日本に売ります。

⑨ そして、炭作りにほかにも土も丈夫にする方法も見つけました。はいを細かくしてまぜると土の状態が良くなります。その畑から、野菜や果物が前よりもたくさんとれるようになりました。

⑩ 炭づくりは今でも使っています。また、炭作りは森がないとできません。人間は自然から恵み（説明）をもらうだけでなく、人間の方から、自然と仲良くしていくことが大切です。

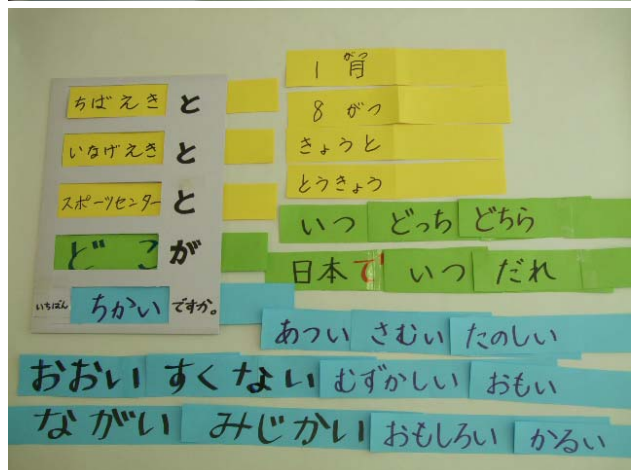
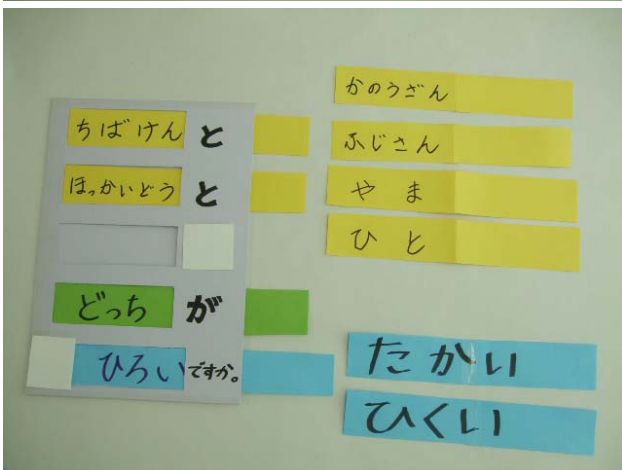
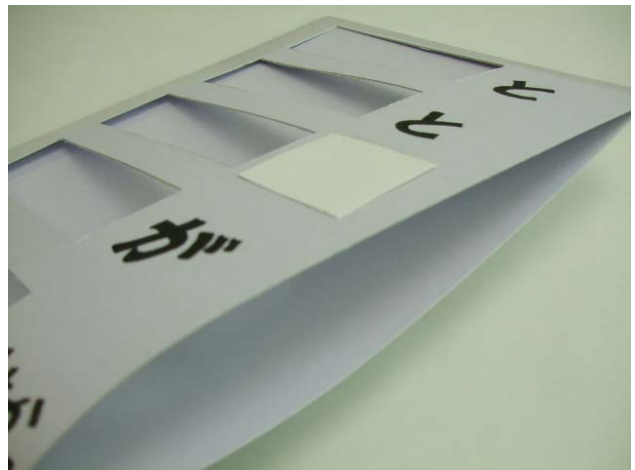
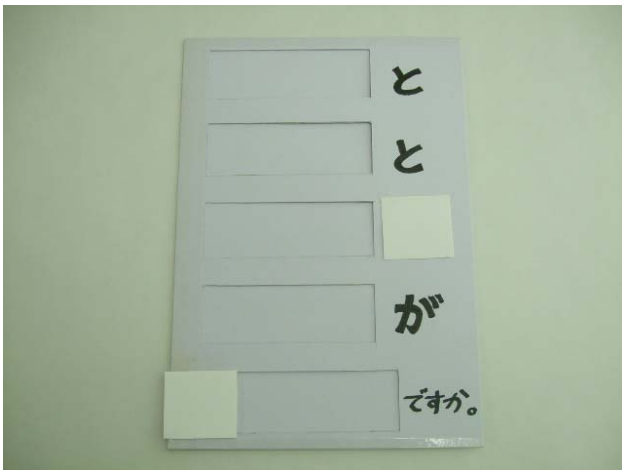
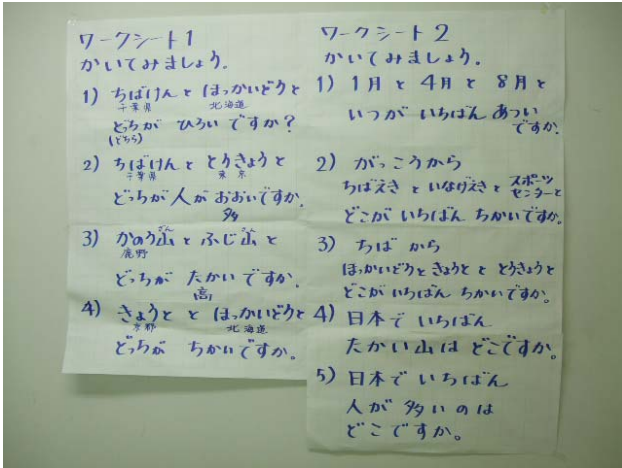
Eグループ

日本語力等：ある程度日常会話ができる生徒への指導

対象：中学生

課題・教材：[文法]こどものにほんご 13課「なつ休みのけいかく」

作成教具等：



副教材・教具作成メモ

グループ	日本語力	対象	課題及び教材
E	ある程度日常会話ができる生徒への指導	中学生	【文法】こどものにほんご 13課「なつ休みのけいかく」

1. 指導内容

文型 ① どっち(どちら)が ~ ですか。
② どっちが いちばん ~ ですか。

2. 副教材・(教具の概要)

中学生(1年生を想定)を対象としているので、できるだけ
だけ教科関連を考えた。

- ① 身近なものに比較をせよから文型を身につけさせます。この時、多くの形容詞を教える
チャンスとする。また、社会科との関連で都
道府県を覚えらる。
- ② ~と~と~と いちばん~ですか。から
()の中でというグループの中でいちばんの
文型を身につけさせていきます。

3. 使用方法

教具の概要

- 。 何枚も練習できるようにA4型にした。
- 。 色別で 名詞(黄色)、ど、いつ(緑)
形容詞(水色) と分けることで
生徒の理解の助けとなります。
- 。 A4サイズの複製を生徒自身が
作ることが出来ます。

4. 留意点

近い — 遠い

「近く」「か」に近い段階だと
「遠い」「は」をA4から
しぼりだす。

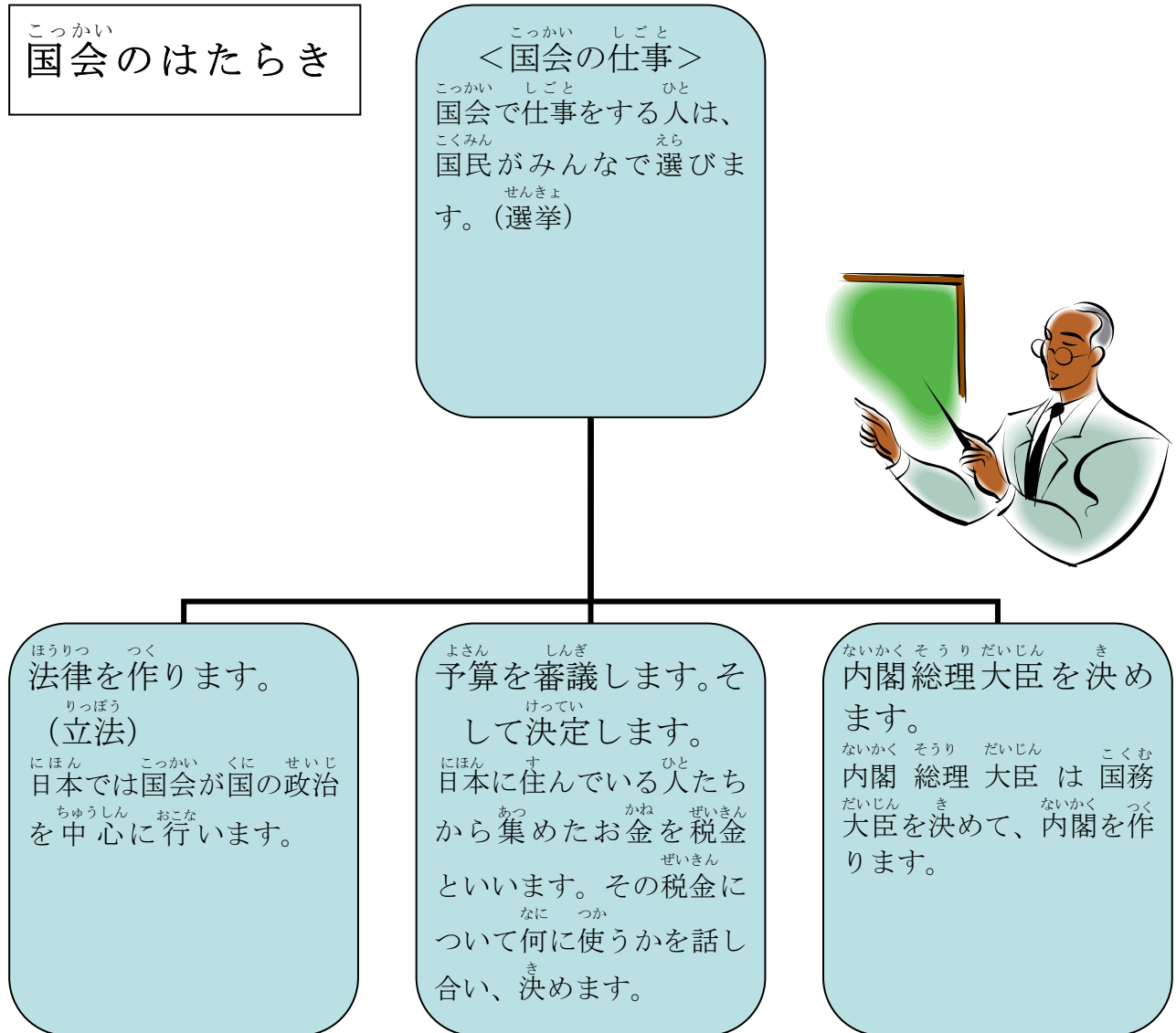
Fグループ

日本語力等：(リライト教材の作成) *別紙参照

対 象：中学生

課題・教材：[社会科] (東京書籍) 公民「国の政治のしくみ」

作成教具等：



そのほかの仕事

- じょうやく がいこく やくそく みと
・ 条 約 (外国との約束、取り決め) を認めます。
- けんぽうかいせい いけん
・ 憲法改正について意見を言います。

こっかい 国会	せんきょ 選挙	ほうりつ 法律	りっぽう 立法	せいじ 政治
よさん 予算	しんぎ 審議	けてい 決定	ぜいきん 税金	そうりだいじん 総理大臣
こくむだいじん 国務大臣	ないかく 内閣	じょうやく 条 約	けんぽう 憲法	かいせい 改正